

受け身の人生から自ら生きる人生へ

～あなたの人生はあなたの手の中にある～



講師の至言

- 今全力でやることに力を惜しまない。
- チャンスを逃さなければご縁は生まれ、人生はより充実したものになる。

担当者のつぶやき

これまでの本田さんの人生における様々な苦難を乗り越えた経験談や生き様について聴かせていただき、一度きりの人生を悔いなく生きる上で自分の為、人の為にできることを考え直し、より前向きになるきっかけをいただけたように思いました。



有限会社 オルソ本田 取締役
本田 美紀さん

結婚を機に専業主婦となり、義父母の介護と3人の子どもの子育てのダブルケアを経験。平成10年に夫と共に義肢装具製作会社を起業した。

参加者の声

ご自身の人生を語っていただいて、人生の先輩から教わるのがたくさんあった。まずは日々を一生懸命生きることから実践しようと思った。(20代/女性)

改めて自分の生き方を見つめなおすことができた。(30代/女性)

新しいことを始めようと思い、迷っている時だったが前向きに考えることができた。背中を押していただいたようで勇気が出た。(40代/女性)

講師の先生の人生を振り返りながらのお話大変感動した。「人生を重ねて生きてきたことに胸を張って生きていく」、私もその言葉を糧に前向きに頑張っていこうと思った。(50代/女性)

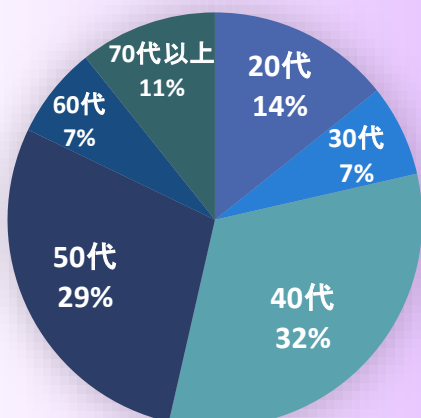
一言では言えないくらいいろいろ考えながら聞かせていただいた。自分のこと、娘のこと、自分の生き方、娘の生き方、再び考え理解もしてきたい。目で見える要点がスクリーンに出て、さらに理解しやすかった。(60代/女性)

生きていく姿勢を教わり学ぶことが多かった。(70代以上/女性)

当日の様子



参加者年代



はたらく×暮らす×楽しむ

～自分で考え、自分で選ぶ、ワーク・ライフ・バランス～



NPO法人
ワークライフ・コラボ 代表
堀田 真奈さん

女性が結婚して働き続ける難しさを痛感し、自らの仕事と子育ての両立の経験からキャリア形成や働き方改革を支援するNPO法人を立ち上げた。

講師の至言

- 違いを認めることが本当の平等
- パーソナリティ(性格)は変えられないけれど、コミュニケーションの仕方は変えられる。

担当者のつぶやき

今回は各々の「～するべきと思っていること」について話し合う時間があり、一人ひとりの価値観や「暗黙の了解」に対する考え方の違いに気付くことができました。また、働き方が多様化する今、仕事と生活のバランスを取ることは日々を充実させるために必要であるということを確認しました。

参加者の声

もっといろんなことを柔軟に考えていいんだと思いました。(20代/女性)

相手との違い、自分の「べき」について考える機会が持てて良かった。相手の環境や考え方について受け入れる姿勢をもって関わりたいと思った。(30代/女性)

今、持っている価値観がすべてではないということを理解しました。(40代/女性)

自分を振り返るグループ討議では、いろいろな意見を聴かせてもらいとても良かった。人それぞれが思う「こうあるべき」ということを共有でき、参考になった。(50代/男性)

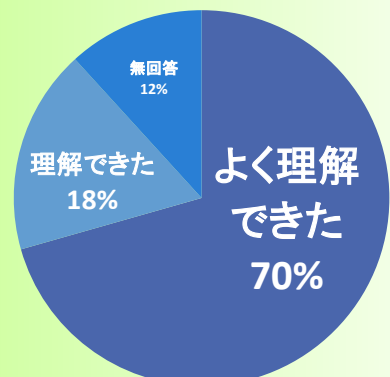
子育ても介護も終わったものの、改めて仕事と生活の調和の大切さを痛感させられた。(60代/女性)

ワーク・ライフ・バランスは仲間が仲良く、いい働き方をする上で大切なことだと思う。(70代以上/女性)

当日の様子



ワーク・ライフ・バランスについて理解は深まりましたか



幸せの種をまこう

～子どもたちの未来を輝かせるために～



講師の至言

- 人生は思い通りにならないけれど、
思った通り(方向)になっていく。
- 「命が輝く」とは、「心が輝く」こと。
笑顔・言葉・行動によって心を表現すること

担当者のつぶやき

命のつながりや生きているキセキ(奇跡・軌跡)について、食育・子育ての面から、ご自身の体験談を盛り込みながらのお話を聴かせて頂きました。

子どもを特に家事において親と対等な存在として育て上げたというエピソードから、子どもたちの生きる力を育むために大人はどう関わるべきなのかを深く考えさせられる講演でした。

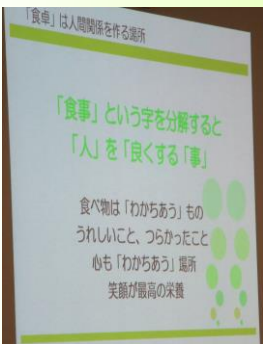


料理研究家/作曲家
元松山市小中学校
PTA連合会会長
中村 和憲さん

5人の子どもを育て、15年にわたるPTA活動に加え、特別支援学校でのミュージカルなどにも取り組んでいる。



当日の様子



参加者の声

とても内容の濃いお話でたくさんメモを取りました。日常生活で活かせるポイントがいくつもあり、大変参考になりました。(20代/女性)

大切にすること・学びがとても多く、心に響くものがありました。自分自身、周りを大切にしていこうと改めて思いました。(30代/女性)

変わらなければならないことがたくさんあり反省しました。今日からでも中村さんのプラスの言葉を日常から発していこうと思いました。(40代/女性)

人生の種まきは食育から始まっていることを教えていただき、貴重で有意義な時間でした。(50代/女性)

自分の子育て、毎日の言葉等いろいろな事が頭を駆け巡る1時間半でした。家に帰っても、またいろいろ考えてみたいと思います。(60代/女性)

幸せの種をまく意義とコツを教わったと思います。自分も周囲も幸せになるよう、種をまき続けていきたいです。(70代以上/女性)



しなやかに、したたかに ～NPO活動の事例から～



NPO法人
GCM庚申庵倶楽部 理事長
松井 忍さん

松山の俳人、栗田樗堂が建てた草庵の保全活動をしなが、地域文化の伝統を継承、育成するNPO法人を15年前に立ち上げた。

講師の至言

- ・ 地域の方に支えられていることに感謝。
- ・ 社会の喫緊の課題解決には、女性のしなやか且つしたたかな力が必要である。

担当者のつぶやき

松山市の歴史的遺産である庚申庵を保護・保全する上で地域の課題を行政任せにせず、自分たちの力で解決することを目的として活動しているというお話を、地域の子どもたちやボランティアの方々との交流のエピソードを交えながら語っていただきました。頑張りすぎずに頑張り、何より「感謝し、感謝されること」と「楽しむこと」を基本として活動しているというお話に感銘を受けました。

参加者の声

庚申庵が様々な活動をしていることを知り、ぜひ行ってみたいと思いました。地域の子どもたちとのつながり等のお話も、とても勉強になりました。(20代/女性)

地域や、外とのかかわりについて、自分でできることを見つけ、できる範囲で行って行けたらと思います。(30代/女性)

女性性・男性性のそれぞれの性の得意・不得意を活かして一人ひとりが自ら地域に、社会に貢献できるというなと感じた。(40代/女性)

「状況が人を育てる」「教育は死ぬまで続く」…歳なんだから勉強は、とと思っていましたが、やる気になりました。ありがとうございました。(50代/女性)

支え合うことが人生の基本ということから、これからの生き方を教えていただきました。地域活動に参加しようと思いました。(60代/女性)

庚申庵の活動方針がよくわかりました。ますます関心を向けていきたいと思えます。(70代以上/女性)

当日の様子



GCM庚申庵倶楽部とは

- ▣ 栗田樗堂の顕彰活動
- ▣ 地域のまちづくり
- ▣ 俳都松山のまちづくりに貢献する

樗堂二百年祭記念講演

内容

講師：東京大学教授 ロバート キャンベル先生
 テーマ：『江戸文人の『住まい』感覚』
 日 時：2013年9月1日(日) 13:00~14:00
 申込者：284名

鼎談「樗堂から見えてくるもの」
 講師：ロバート キャンベルさん 松井 忍
 福田安典さん
 日 時：9月1日(日) 14:15~15:30
 申込者：192名